

# 軍事対決の悪循環に拍車

米・バイデン大統領と岸田首相、韓国・尹錫悦大統領による首脳会談が18日開かれ、日米・日韓の二つの軍事同盟の結びつきを強化し、インド太平洋さらには地球規模の3カ国の軍事協力を「前例のないレベル」（バイデン氏）に引き上げることを打ち出しました。



公海上で共同訓練を行う日米韓のイージス艦=7月16日  
(米インド太平洋軍ウェブサイトから)

## 軍事的枠組みづくりに反対する

覇権主義を強める中国に対抗するため、日米韓の軍事的な枠組みづくりに乗り出そうとするものです。国際秩序を脅かす中国の無法な行動は許されません。一方で、米国とその同盟国が対中国の軍事包囲網を強めることも、地域と世界の緊張を高めます。

### 志位委員長が談話

共産党の志位和夫委員長は19日、談話を

発表。「米国の **日本共産党** 戦略に沿って、3カ国の新たな軍事的枠組みをつくり、インド太平洋地域の分断を強め、東アジアにおいて軍事対軍事の悪循環を一層加速させるきわめて危険な動き」と指摘。北朝鮮や中国への対抗を名目に、分断と対立を一層深刻にする動きに「厳しく反対する」と表明しました。

## 新型迎撃弾を共同開発

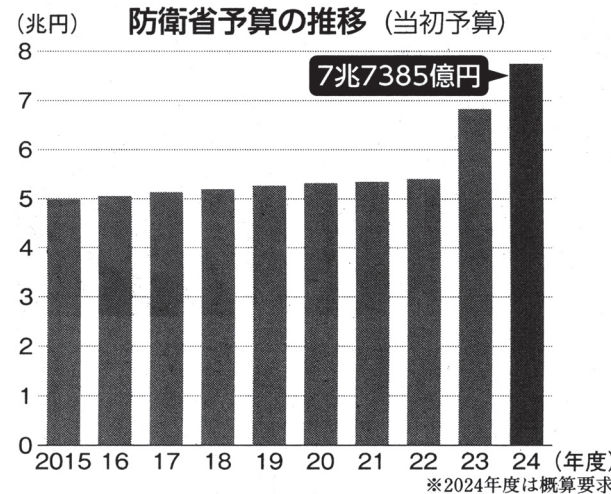
日米首脳会談では、中国、ロシアなどが開発をすすめる極超音速兵器に対処する新型迎撃ミサイルの共同開発に合意しました。

これは米軍が主導、先制攻撃が前提の「統合防空ミサイル防衛」

(IAMD) に日本を深く組み込むものです。志位氏は「危険な軍拡の悪循環を助長し、地域の緊張を高めるもので、強く反対する」としています。

## 軍事費最大の7.7兆円

24年度概算要求 **本年度比1兆円増**



防衛省は2024年度の概算要求で、過去最大の今年度を1兆円も上回る7兆7385億円を計上する方針です。政府は軍事費を国内総生産(GDP)比2%に倍増する方針で、毎年度1兆円程度を上乗せし、23~27年度に軍事費43兆円の確保を狙っています。軍事費が2倍になればロシアを上回る世界第3位の軍事大国になります。

食料品やガソリンをはじめとする物価高騰が暮らしを直撃する中、大軍拡を優先する姿勢です。

## 平和共存の道こそ

3カ国の首脳は、東南アジア諸国連合 (ASEAN) の取り組みとその「インド太平洋構想」(AOIP) への支持を改めて確認しました。AOIPは地域の全ての関係国を包

み込む平和の取り組みの提唱であり、排他的な対応の強化とは根本的に矛盾します。

志位氏は「対話を強め、地域の全ての国を包摂する安全保障の枠組みを推進することこそ求められている」と強調しています。